

⑬排水施設の日常的な点検・保全管理実施による地域の防災意識の醸成

【徳島県 川内地域農地・水・環境保全組織管理協定運営委員会】

- 地盤標高が0～1mの低平地で排水機場に接続する排水路の点検・保全管理を実施。
- 取組を契機に、地域住民へ防災意識の醸成が図られる。

地域概要

- 川内地域は、吉野川本川と今切川に囲まれた低平地（海拔が0～1m）で、常時機械排水が必要。
- 昭和南海地震による津波被害、第2室戸台風による浸水被害を経験しており、防災意識が高い。



川内地域位置図
（出典：国土地理院HP※一部加筆）

対策の内容・結果

防災意識の醸成を図るため、多面的機能支払交付金（旧農地・水保全管理支払交付金）を活用し、以下の活動を実施。

【施設維持管理の強化】

- 一般住民の参加による施設の点検・見回りの実施。
- 排水路の泥上げ作業を業者委託。数年に一回のサイクルで実施。

【広報・環境活動】

- 防災意識の醸成を図るため、土地改良区の広報誌に取組みを掲載。
- 排水路に隣接する余剰地を利用し、草花を植え、水路への関心を図る。

- 防災意識醸成及び土地改良に対する認識の向上に繋がっている。



排水路沿線への植栽
（出典：農林水産省HP
多面的機能支払交付金の取組事例）



排水路の泥上げ
（出典：農林水産省HP
多面的機能支払交付金の取組事例）



降雨後の水路の見回り
（出典：農林水産省HP
多面的機能支払交付金の取組事例）

対策の背景

防災意識・農業水利施設の関心の薄れ

- 都市化・混住化の進展による防災意識・農業水利施設への関心の薄れ。